# 外科肝胆膵外科高度技能医研修コース

1.　診療科（専門領域）

肝胆膵外科

2.　コースの概要

日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度の教育施設実地修練計画書に基づき、肝胆膵外科領域における高度な専門知識と主体的かつ的確な技術を擁する肝胆膵外科高度技能専門医（以下、高度技能専門医）応募資格の取得を目指すことを最終目標とする。初期研修終了後のはじめの 3 年間は、日本外科学会専門医制度の教育施設実地修練計画書に基づき、外来診療、手術、検査、病棟業務を通じて、外科診療全般を一人前に行える手技の習得を目指し、外科専門医となるための外科的知識や診療技術を研修する。したがって、初期の 3 年間は別項の外科研修コースに記載した研修プログラムに準じて研修を行うが、3 年目（卒後 5 年目）は、高度技能専門医応募資格取得を目標とした肝胆膵疾患を主に研修を行う。なお、他施設において、外科専門医研修中であっても、他施設の研修実績を配慮の上、本研修コースに編入可能であり、特に、外科研修中の外科専門医取得見込み者（卒後 5 年目以上）あるいは外科専門医応募資格取得者（卒後 6 年目以上）は、本プログラム 4 年目から研修を行うことも可能とする。研修の後半で、高度技能専門医取得に必須の日本消化器外科学会専門医資格取得を満たしつつ、高度技能専門医に必要な資質と症例数を経験することを目標とする。

3.　取得資格

日本外科学会専門医受験資格(3 年終了後)
日本消化器外科学会専門医受験資格
日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医受験資格
日本がん治療認定医機構がん治療認定医申請資格
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医
国立病院機構の専修医修了証(3 年終了後)
全がん協参加病院におけるがん診療レジデント修了証(3 年終了後)

4.　長期目標

日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医

5.　取得手技

肝胆膵外科高度技能専門医に必須とされる下記、高難度肝胆膵手術手技

- 肝三区域切除
- 肝葉切除および拡大肝葉切除
- 肝中央二区域切除
- 区域切除;後区域、前区域、内側区域（外側区域は除く）
- 亜区域切除(S1,S2,S3,S5,S6,S7,S8,)

- 胆管切除を伴う肝切除(ただし、肝葉切除および肝 S4a+S5 切除以上)
- 拡大胆摘以上の肝切除とリンパ節郭清を伴う胆嚢癌手術
- 胆嚢胆管切除＋胆管消化管吻合（先天性胆道拡張症に対するもののみ）
- 膵全摘術(残膵全摘も含む)
- 膵頭十二指腸切除(幽門輪温存を含む)
- リンパ節郭清を伴う膵体尾部切除（膵原発浸潤性悪性腫瘍、NET に限る）
- 血管温存膵体尾部切除
- 膵中央切除
- 十二指腸温存膵頭部切除
- 膵頭温存十二指腸切除
- 門脈切除再建を伴う肝胆膵領域の手術
- 肝部下大静脈再建を伴う肝胆膵領域の手術
- 肝静脈切除再建を伴う肝胆膵領域の手術
- 上腸間膜動脈切除再建を伴う肝胆膵領域の手術
- 肝動脈(腹腔動脈系)切除再建を伴う肝胆膵領域の手術

6. 期間

5 年間(初期研修終了者)

初期研修終了後、外科研修中の途中参加も可能、その場合は、研修年数および外科研修実績によって、2～3 年となる。

7. 募集人数

1～2 名

8. 診療科(または関連診療分野)の実績と経験目標症例数

症例数と手術件数の調査年度

| | 入院数(年間：2024 年) | 経験目標症例数(5 年間) |
|---|---|---|
| 肝胆膵疾患 | 431 | 750 |

| 手術 | 手術件数(年間：2024 年) | 経験目標件数(5 年間) |
|---|---|---|
| 肝胆膵外科手術 | 299 | 150 |
| 肝胆膵高難度手術 | 33 | 50 |

9. 診療科の指導体制

診療科医師数　常勤 3 名、非常勤 1 名
診療科研修の指導にあたる医師　2 名
主として研修指導にあたる医師の氏名　濱直樹（高度技能専門医）
酒井健司（高度技能専門医）

外科専門医研修に関しては、大阪医療センターにおける外科研修についてを参照

10.　コンセプト

2011 年 6 月、世界で初めて肝胆膵外科での高度の技能を有する者を認定する「肝胆膵外科高度技能専門医」が誕生しました。これまで日本外科学会専門医や日本消化器外科学会専門医の規定では、高難度の肝胆膵外科手術をこなせるかどうかについては、課題にされていなかった。それに対し、日本肝胆膵外科学会が行っている高度技能専門医制度は、「高難度肝胆膵外科手術をより安全に、かつ確実に行うことができる外科医を育てること」を趣旨としている。この資格を得るには、高度技能指導医のもと、high volume center といえる修練施設で症例経験を積み、認定基準に定められた高難度肝胆膵外科手術 50 例以上を、修練施設で高度技能指導医または高度技能専門医の指導（指導的助手を意味する）の下で術者として行う事が必要で、申請時直近の 7 年以内に 3 年以上（申請日前年の 12 月 31 日まで）の修練期間中に目標手術件数を経験することが求められている。この申請資格を得るには、通常、外科、消化器外科専門医取得と行った段階的な専門医取得が必要で、研修終了後 10 年以上の年数が必要となる場合が多い。しかしながら、当施設のような肝胆膵外科学会の高度技能医認定修練施設において外科、消化器外科の研修と同時に肝胆膵外科高度技能専門医の研修を行うことにより、より早く専門医資格基準を獲得することが可能となる。

11.　一般目標

高難度肝胆膵外科手術 50 例以上を術者として行う事

12.　関連領域の専修に関して

| | |
|---|---|
| 施設内での専修 | 可能 |
| 施設外との交流専修 | 可能 |

13.　共通領域の専修について

院内・院外で開催されている研修会や勉強会などへの積極的な参加を推進しています。また、学会活動や論文作成を積極的に行い、最新の知識の獲得と情報発信を行うことを推奨している。